



確かな学力の向上をめざして【11月】

■コミュニケーション能力の育成のために

～全国学力・学習状況調査「中学校・英語」の結果を踏まえて～

これから訪れる、情報化やグローバル化が急激に進む変化の激しい社会では、これまで以上に他者と協働する力が求められています。そのためには、コミュニケーション能力を育成していくことが必要不可欠です。国語科や外国語科のみならず、その他の教科等でも言語活動を充実させ、コミュニケーション能力を育てていきましょう。

英語科におけるコミュニケーション能力の課題は？ ～即興的にやり取りする力～

今年度初めて実施された全国学力・学習状況調査の中学校・英語の問題では、以下のような問題が出題されました。情報や考えを即座にやり取りしたり、相手の話した内容に対して質問や意見を述べたりして、会話を継続させていくことに大きな課題が見られました。

「話すこと」大問2

ユイコ



あなた



アラン先生



あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。

正答率10.8%(全国・参考値)

『目的・場面・状況に応じて、既習事項を活用し、即興でやり取りを行う』という言語活動を実施していくことが求められています。

英語でのコミュニケーション能力を高めるために ～Small Talk を活用しよう～

英語科では、「Small Talk」という言語活動を充実させることが、児童生徒のコミュニケーション能力を高めるために重要です。

☆Small Talk とは？

ペアで行う1分程度のちょっとした (Small) 対話 (Talk) のこと。その場で提示されたお題について即興で自由に話をするという言語活動です。あらかじめ原稿を用意せず、「その場で」「即興的に」話をさせることで、英語でやり取りする力を高めます。

☆Small Talk の学習過程



生徒同士のやり取りの間に「指導・共有」を行うことで、児童生徒が自分の課題を認識することができるため、その後の指導がより効果的になります。

Point

コミュニケーション能力を高めるには、児童生徒が学んだことを『繰り返し』活用できる場面を設定することが重要です。また、指導に当たっては、教師と児童生徒、あるいは児童生徒同士がやり取りする中で、児童生徒自らが課題に気づき、学びの必然性を感じられるようにすることが大切です。

各教科の特性に応じた授業改善を行い、次世代を生きる児童生徒に「生きる力」をつけていきましょう！